

ケーブルテレビホームターミナル用 リモートコマンダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

RM-P6CATV

© 2003 Sony Corporation Printed in China

△警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- ・安全のための注意事項を守る
- ・故障したら使わない
- ・万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険 この表示の注意事項を守らないと、火災、感電、破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

△警告 この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

△注意 この表示の注意事項を守らないと、感電その他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

電池についての安全上の注意

液漏れ、破裂、発熱、発火、誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

△危険

乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

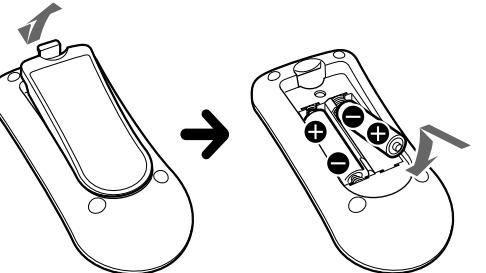
- △警告
- ・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
 - ・乾電池は充電しない。
 - ・①と②の向きを正しく入れる。
 - ・乾電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出してください。
 - ・新しい乾電池と使用した乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。
 - ・液漏れした乾電池は使わない。

- △注意
- ・火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
 - ・外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
 - ・指定された種類以外の電池は使用しない。

準備

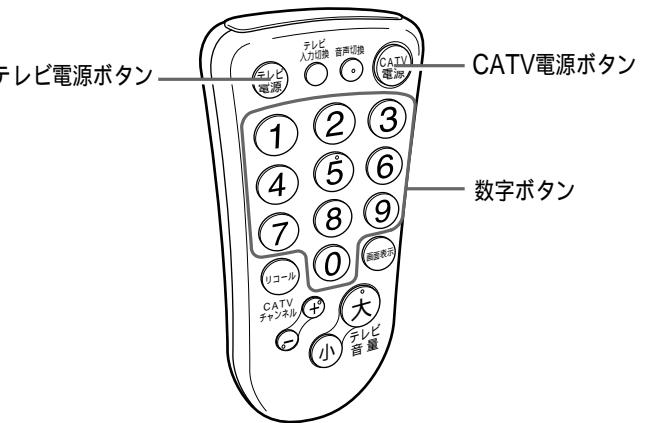
1 乾電池を入れる

付属の乾電池(単3形乾電池2本)を入れます。



2 メーカー設定をする

本機はケーブルテレビホームターミナル用リモコンです。お使いになる前に、必ずメーカー設定をしてください。メーカー設定をしないと、ご使用になることができません。



- ① テレビ電源ボタン、またはCATV電源ボタンを押しながら、数字ボタンでメーカー番号を押す(右記「メーカー番号一覧表」参照)
メーカー番号が何通りがある場合は、まず一番左に書いてある2つのボタンの組み合わせから試してください。
- ② テレビ電源ボタン、またはCATV電源ボタンから指を離す
「ピー」という確認音が鳴ります。

例) 松下のテレビの場合

- 1 テレビ電源ボタンを押したまま② ①と押す

- 2 テレビ電源ボタンから指を離す

設定が完了すると「ピー」という確認音が鳴ります。

例) 東芝のケーブルテレビホームターミナル(HT)の場合

- 1 CATV電源ボタンを押したまま③ ③と押す

- 2 CATV電源ボタンから指を離す

設定が完了すると「ピー」という確認音が鳴ります。

※ 3つのボタンを同時に押しても設定できません。テレビ電源ボタンまたはCATV電源ボタンは、最後まで押したまま離さずに、数字ボタンを順に押してください。

3 正しく設定できたか確認する

本機でテレビ、ケーブルテレビホームターミナルの電源入・切を確認してみてください。また、ケーブルテレビホームターミナルのチャンネル切り換えも試してみてください。(下記または裏面の操作のしかた参照) うまく操作できない場合は、メーカー設定をやり直してください。またメーカー番号が何通りがある場合は、違う番号で試してみてください。それでもうまく操作できない場合は、他社のメーカー番号を試してみてください。

設定が終わったら正しく設定できたら、そのメーカー番号を電池ぶたの内側のラベルに記入しておくことをおすすめします。

ご注意

メーカー番号一覧表にあるメーカーの機器でも、年代・機種によっては、操作できないものや、一部の機能が操作できないものもあります。

メーカー番号一覧表

テレビ

メーカー	メーカー番号(テレビ電源ボタンを押したまま、2つの数字ボタンを順に押します)
ソニー	①-①、①-③、①-④
パナソニック	②-①、②-②、②-④
ナショナル(松下)	③-①
東芝	④-①、⑤-①、④-③
日立	⑤-①、⑤-②、②-①
三菱	⑥-①、⑥-②、⑥-③
ビクター(JVC)	⑦-①、⑦-③、⑦-⑥
サンヨー	⑧-①、⑧-②
アイワ	⑨-①、⑨-②、⑨-③
シャープ	⑩-①、⑩-②
フナイ	⑪-⑦、⑪-⑧、⑪-⑨、⑪-⑩
PRECIOUS	⑫-①、⑫-②、⑫-③
NEC	⑬-①、⑬-②、⑬-③
富士通	⑭-⑦
パイオニア	⑮-①

ケーブルテレビホームターミナル(HT)

メーカー	メーカー番号(CATV電源ボタンを押したまま、2つの数字ボタンを順に押します)
ソニー	①-④
パナソニック	②-②、②-③、②-④
ナショナル(松下)	③-③
東芝	④-③
日立	⑤-①
NEC	⑥-①
富士通	⑦-⑦
パイオニア	⑧-①
住友電気	⑨-②、⑨-③、⑨-①
サイエンティフィック・アトランタ(SA)	⑩-④
愛知電子	⑪-⑤、⑪-⑥
Winersat	⑫-⑦
DXアンテナ	⑬-⑨、⑬-①
マスプロ	⑭-④

操作

「準備」でメーカー設定が終わったら、本機をそれぞれの機器に向けて操作します。

1 ケーブルテレビホームターミナルの電源を入れる

2 テレビの電源を入れる

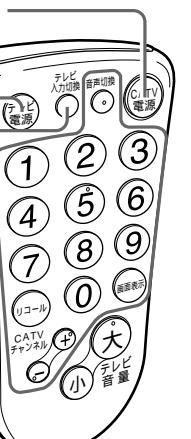
3 テレビの入力を切り換える

テレビ入力切換ボタンでケーブルテレビホームターミナルの画面にします。

4 ケーブルテレビホームターミナルを操作する

各ボタンの機能は右記の対応表を参照してください。

※ 数字ボタンの「5」、音声切換ボタン、テレビ音量ボタンの「大」、CATVチャンネルボタンの「+」と「-」には、凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。



ケーブルテレビホームターミナルの音量調節について

本機では、ホームターミナル本体の音量調節はできません。ケーブルテレビの音量は、ホームターミナル側の音量を固定したまま、本機のテレビ音量(大)/小ボタンでテレビの音量を調節してください。

なお、あらかじめホームターミナル側で、ビデオなどと同じくらいの音量に聞こえるようにホームターミナル本体の音量を調節しておくと、ビデオとケーブルテレビを切り換えたときなどに、音量調節をし直す必要がなくなります(真ん中くらいが目安です)。

ケーブルテレビホームターミナル(HT)ボタン機能対応表

メーカー	ソニー	他社のホームターミナル
ボタン名	電源	電源
CATV電源	1~9	1~9
①~⑨	0	0
CATVチャンネル+/-	チャンネル+/-	チャンネル(選局) / リターン(リピート、チャンネルリターン、CHリコール)
リコール	ジャンプ	リターン(リピート、チャンネルリターン、CHリコール)
音声切換	二重音声	音多切換(主/副)
画面表示	画面表示	CHコール(表示、表示コール) 時計

■ ケーブルテレビ画面にならないときは

- ・テレビの入力を切り換えてください(詳しくは裏面の「入力を切り換えるには」参照)。
- ・空きチャンネルにケーブルテレビなどを設定している場合は、お使いのテレビのリモコンを使ってそのチャンネルに合わせてください。

■ テレビの電源が入らないときは

- ・テレビ本体のスイッチを確認してください。
- ・本体の電源が入っていないと、リモコンで電源が入らない場合があります。

ご注意

- ・基本的に、お使いのホームターミナルに付属のリモコンと同じ使いかたをしてください。ただし、本機にボタンがあっても、お使いの機器にない機能は使えません。また機種によっては、一部の機能が操作できない場合もあります。
- ・本機はアナログ型ケーブルテレビホームターミナル専用のリモコンです。DVDやHDDなどを搭載した複合機器には対応していません。
- ・シャープなど一部のBSデジタルチューナー内蔵テレビは操作できない場合があります。
- ・コンピューター用モニター(テレビチューナー内蔵型を含む)には対応していません。
- ・本機で操作できるテレビの機能は、電源入・切、入力の切り換え、音量の調節のみです。それ以外のテレビの操作をしたい場合は、お使いのテレビのリモコンで操作してください。

